

# 名古屋第二赤十字病院



所在地：〒466-8650 名古屋市昭和区妙見町 2-9 TEL. 052-832-1121 FAX. 052-832-1130

## 病院概要

病床数：812 床

診療科目：26 科

内科・神経内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・放射線科・歯科・歯科口腔外科・麻酔科・病理診断科・薬物療法内科・救急科

職員数： 総数 1,851 人

医師数：344 人

看護師数：973 人

診療放射線技師数： 35 名（内 男性 28 名・女性 7 名）

認定技師取得者数：19 名

認定内容：・第一種放射線取扱主任者 7 名

- ・医学物理士 2 名
- ・放射線治療専門放射線技師 2 名
- ・放射線治療品質管理士 3 名
- ・血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師 3 名
- ・核医学専門技師 1 名
- ・医療情報技師 1 名
- ・救急撮影認定技師 2 名
- ・X線 CT 認定技師 2 名
- ・健診マンモグラフィ撮影認定技師 5 名
- ・JPTEC（病院前外傷教育プログラム） 3 名
- ・ISLS（神経救急蘇生） 1 名
- ・BDLS（Basic Disaster Life Support） 1 名
- ・Ai 認定診療放射線技師 1 名
- ・放射線管理士 1 名
- ・放射線機器管理士 1 名

当直・夜勤体制について

放射線当直2名、MR 当直1名 平日 17:00～8:30、土日祝 平日当直帯制十午前中のみ1名。

ただしMR 当直のなかには臨床検査技師も含まれる。

## 導入機器

### 一般撮影

担当技師：7人 機器台数：7台  
導入メーカー・機器名：日立メディコ DHF-158HⅡ  
1日平均撮影件数（人）277

### マンモグラフィ

担当技師：1人 機器台数：1台  
導入メーカー・機器名 LORAD Selenia/Multicare Platinum  
1日平均撮影件数（人）7

### ポータブル

担当技師：2人 機器台数：6台  
導入メーカー・機器名 日立メディコ シリウス 130HT  
1日平均撮影件数（人）70

### CT

担当技師：4人 機器台数：4台（内 64列以下：2台 64列以上：2台）  
導入メーカー・機器名 PHILIPS Brilliance64 など  
1日平均撮影件数（人）200  
ワークステーション AZE

### MRI

担当技師：4人 機器台数：4台（内 1.5T：2台/3T：2台）  
導入メーカー・機器名 PHILIPS Ingenia 1.5T/3.0T など  
1日平均撮影件数（人）100

### SPECT

担当技師：3人 機器台数：3台  
導入メーカー・機器名 Spectrum Dynamics D-SPECT など  
1日平均撮影件数（人）15

### 血管造影（心カテ、頭部血管、腹部血管などすべて含む）

担当技師：3人 機器台数：4台  
導入メーカー・機器名 PHILIPS Allura Xper FD20 など  
1日平均撮影件数（人）12

## 透視装置

担当技師：4人      機器台数：6台  
導入メーカー・機器名 日立メディコ VersiFlex VISTA など  
1日平均撮影件数（人）20人

## 放射線治療

担当技師：4人      機器台数：3台  
導入メーカー・機器名 トモセラピー ハイアートシステムなど  
1日平均撮影件数（人）

## 骨密度

担当技師：1人      機器台数：1台  
導入メーカー・機器名 HOLOGIC Discovery A  
1日平均撮影件数（人）10人

## 超音波

担当技師：1人      機器台数：1台  
導入メーカー・機器名 日立メディコ  
1日平均撮影件数（人）11人

## 当院の新しい業務の取り組みや業務改善の紹介

### 【独自のローテーションシステム】

当院の医療技術部放射線科では一般撮影、X線TV（内科、外科、泌尿器科）、骨塩定量、超音波検査などが集中している画像診断センター、さらに隣接して核医学、CT、MR、全身用血管撮影装置など、3病棟地下1階の同じエリア内に画像診断機器の多くが配置されている。地下2階には高精度放射線治療センター、さらに救急外来に隣接して救急放射線、ICU、CCUに隣接して心カテ装置2台、消化器内科外来内視鏡センターにはX線TV装置2台とX線装置が点在している。当院の特色は、これら画像診断機器を操作する35名の診療放射線技師（技師）が、毎日のように持ち場をローテーションしていることである。一人の技師が複数のモダリティを担当することによって、忙しい時間帯に忙しいモダリティを応援する。例えば画像診断センターの一般撮影室（5室）の稼働状況と待ち患者数がリアルタイムに電カルの各端末に表示されることで、他のモダリティにいる技師が一般撮影の状況を把握でき、場合によってはヘルプに入ることができる。この方法を取り入れたきっかけは、産休育休による技師不足に対処するための苦肉の策であった。

### 【コーチングの活用】

当院は今年で創立101年目となるが、3年前からコーチングを全病院的に取り入れ、“コーチングで病院を変える”、“コーチングを病院の風土に”の合言葉で、“最高の病院になる”という目標を掲げてきた。当放射線科でもコーチングによって多くの業務改善が行われてきた。例えば他職種間におけるコ

コミュニケーションを高めるために、放射線科での朝ミーティング終了後にモダリティ毎のミーティングを行うことだ。CT室を例に挙げると、技師、看護師、受付、時には放射線科医師が顔を合わせて当日の検査状況をチェックし、問題となり得る状況を共有することである。従来はこれら他職種におけるコミュニケーション不足からインシデント事例も発生していたが、これを取り入れてからは他職種間の関係も改善するに至った。先に述べた、忙しい時間帯に忙しいモダリティを応援することも、コーチングによる業務改善の成果である。



#### 【5Sの推進】

5S活動とは「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」、「しつけ（あるいは習慣）」の頭文字をとったもので、製造業界では1980年代から職場環境の整備を目的として行われてきた。近年、医療現場においてもスペースの確保、作業効率の向上、不良在庫をなくすことによるコスト削減、医療安全への貢献などが期待され、今後多くの病院でも取り組まれていくと予想される。当院では2014年12月にプロジェクトが開始され、2016年2月までを一区切りとして部署毎に取り組みが始まった。放射線科は放射線看護師と部屋毎にペアを決め、今は不要品のリストアップの最中である。何よりも大切なことは楽しく続けることであり、一人ひとりがこの環境を守りたいと思えるようになれば、この活動の成功は間違いない。

## ここ最近 5 年間の放射線科の移り変わり

平成 16 年（2004 年）、3 病棟竣工とともに地下 1 階に画像診断センターが開設した。さらに平成 18 年（2006 年）CT・血管撮影装置の移設、トモセラピー、リニアック、小線源治療を備えた高精度放射線治療センターが開設した。これによって従来の分散型放射線科から、放射線科の機能をほぼ 1 箇所に集約した集中型放射線科となり現在に至った。平成 19 年（2007 年）にはほとんど全ての画像診断検査がフィルムレス化された。そして平成 22 年 5 月（2010 年）に電子カルテが稼働することで、現在のシステムが構築された。フィルムレスによって発生した新たな業務として、他院への紹介患者さんに対する画像提供のための CD 作成、さらに他院から当院に紹介された患者さんが持参した CD 画像データの取り込みが挙げられる。画像のフィルムレス化に伴い、画像を観察するための手段も変化した。従来のレントゲンフィルムを観察するためのシャーカステンから、デジタル画像を観察するための高精細モニタに変わったことで、2 メガモニタ 120 台が各診察室、病棟、カンファランス室に配備された。放射線科における医用画像のすべてがデジタル化したことによって、放射線業務だけでなく放射線科の役割も進化した。従来のような放射線科による画像提供、医事課による画像の保管管理から、デジタル画像の取得から保管、管理、提供までの業務を放射線科が担うことになり、レントゲンを撮って渡すだけの部署から、医用画像および高精細モニタの管理運営を担う部署になった。放射線科における医用画像のデジタル化は、放射線科業務だけではなく病院全体の診療業務を含む画像関連業務の効率化・迅速化を実現した。従来のように X 線フィルムを持ち運び、シャーカステンに掲げる診療から、各診療科や病棟さらには院内のどこからでもストレスなく画像を参照できるシステムが構築された。

## 地元紹介

「なごや」を知ろう

名古屋の名所といえば「名古屋城」、「金のしゃちほこ」、「TV 塔」、「名古屋港水族館」ぐらいでしょうか。かつての名古屋城は戦争で焼けましたので、今あるのは戦後建てられたものです。当院から比較的近いところには「東山動物園・植物園」がありますので、コアラでも見に来てちょーでゃー。

名古屋人の気質は「見栄っ張り」だそうです。最近はすっかり変わりましたが、かつての名古屋の結婚式は、大きくてかさばる引き出物が良いとされて来た風潮があります。さらに昔は、町内の人たちに何百万もする嫁入り家具を披露し、お菓子を配り、そうして嫁いで行くため、娘を嫁に出すと所帯が傾くと言われていました。話はそれでしたが、名古屋名物といえば昔は「ういろう」、「きしめん」でしたが、今は「味噌カツ」、「手羽先」、「名古屋コーチン」が有名です。「味噌カツ」は矢場とんが有名であるが、だいたい何処でも食べることができます。「手羽先」は世界の山ちゃん派と風来坊派に別れ、好き嫌いがあります。皆さんもいっぺん食べたってちょーでゃー。忘れていましたが最も有名な食べ物物は蓬萊軒の「ひつまぶし」です。これは TV でもよく取り上げていますので、皆様もご存じかとおもいます。しかし、これをたべるには 1 時間以上の行列に並ばなければなりません（予約不可）。

さて皆さんの好きな地酒もそろっています。画像にあります山忠本家酒造の「義侠」、それ以外にも関谷酒造の「空」、萬乗醸造の「醸し人九平次」などお勧めですが、普通の酒屋では扱っていないため特別な飲み屋さんへ行かなければなりません。当院の近くにも「味噌おでん」が有名なお店がありますので、近くへ来られた際にはご案内します。









